

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 事業所番号   | 4075300154          |
| 法人名     | 社会福祉法人 小竹福祉会        |
| 事業所名    | グループホーム 新多園         |
| 所在地     | 福岡県鞍手郡小竹町新多上日177番地8 |
| 自己評価作成日 | 平成24年3月12日          |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do">http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                           |         |            |
|-------|---------------------------|---------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部    |         |            |
| 所在地   | 福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階 |         |            |
| 訪問調査日 | 平成24年3月24日                | 評価結果確定日 | 平成24年5月24日 |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居された時より、少しでも 日常生活動作が 向上されるよう 又 いつまでも健康で過ごしていただけるように 生活リハビリ(毎食後の口腔ケア 食事やおやつ前の手洗い等) 常に歩行をする場面づくり離床を心がけて行っています。出来るだけトイレでの排泄が行えるようを行っています。協力病院(在宅療養支援病院登録)より 月2回の往診 緊急時 24時間の往診・訪問看護体制をとり 安心・安全・穏やかな生活を提供できるよう努力しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム新多園は、緑に囲まれた高台にあり、周囲には同法人が運営する特別養護老人ホームやデイサービスセンターがあり、入居者は日常的に交流を図りながら「地域」を形成している。職員は、内部研修や医療面等で情報交換等を行いながら、チームワークや各自の得意分野を活かしながら、平素から入居者一人ひとりの声に耳を傾け、潜在化するニーズを汲み取るような様々なアプローチを試みている。広々とした室内は、採光も良く明るい。十分に動線が確保されるとともに、ゆったりとくつろげるようソファや畳スペースが設けられ、2居室に1ヶ所の割合でトイレが設置してある等、入居者本位に努める空間作りがうかがえる。介護計画書には本人の言葉でニーズが記載され、行動計画の内容は具体的に細やかである。また薬には極力頼らない方針を貫き、医療機関等とも連携を図りながら、生活リハビリや「アソビ」と称するレクリエーション等を通して、ADLの維持・向上を図り、「普通」の暮らしの継続に努めている。また生活保護や成年後見、訪問看護等の制度を柔軟に活用しながら、多角的視野で、関係機関との連携のもと、本人本位の支援に努めている。高齢化が進む当地域において、また多様な福祉事業を展開する法人の中において、より本人本位の質の高いサービスの担い手として、多くの可能性を秘めた今後の展開が楽しみな事業所である。

## サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>該当するものに 印  | 項目  | 取り組みの成果<br>該当するものに 印  |
|--|---|---|---|
| 58<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25,26,27)       | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 65<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,21)   | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 59<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20,40)             | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 66<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,22)                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 60<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)                   | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 61<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38,39)     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 62<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)                  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 69<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32,33)         | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 70<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 64<br>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:30) | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

自己評価および外部評価結果

| 自<br>己          | 外<br>部 | 項 目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------|--------|--|--|---|-------------------|
|                 |        |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>理念に基づく運営</b> |        |  |  |   |                   |
| 1               | (1)    | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 朝礼で理念を唱和 利用者優先 先ず傾聴 個々に合わせたお手伝いを いつも笑顔を忘れずに接している 沢山の笑顔を引き出せるよう 支援を心がけている   | 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作り上げている。朝礼での唱和や、事業所内の一番目につきやすい場所に掲示することにより、日頃から意識し、職員間で共有出来るように努めている。                                     |                   |
| 2               | (2)    | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 研修生 実習生の受け入れ 地域のボランティアの慰問 近隣の幼稚園・小学生の慰問 町内の文化祭に作品出展 見学などで交流に取り組んでいくよう努力している  | 立地が住宅地から離れた高台にある為、地域住民との交流には苦慮している。反面、隣接の特別養護老人ホームや、デイサービスの利用者とは、日常的に行き来がある。またボランティア等の来訪者とも、交流があり、地域の一員としてのつながりが維持出来るよう努めている。       |                   |
| 3               |        | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 特に行っていない   |   |                   |
| 4               | (3)    | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 2ヶ月に一度の開催で 現在の状況及び活動等 報告質問や参加者の近所の高齢者の出来事 役場からは福祉関係の情報等 又報道関係で知りえた事件での意見交換や 介助の方法 感染症の予防の取り組み法など話し合いサービスの向上に活かしている | 民生委員、町担当課職員、法人の監事、家族代表者、時に入居者が参加し、2ヶ月に1回実施している。入居者の様子や運営・活動状況等の報告・説明がなされ、質疑応答を行っている。議事録から、災害時の備蓄について等、時宜に合ったテーマで意見交換を行っていることが確認出来る。 |                   |
| 5               | (4)    | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 月に2、3回管理者が窓口へ 利用者状況等報告に行くようになっており その都度 困りごと等あれば 相談にのっていただいております 協力関係を築くよう取り組んでいる                                   | 管理者が町担当課の窓口へ直接訪れ、運営状況等を報告するとともに、質問や相談を行いながら、積極的に情報交換を行っている。また保護係の来訪も定期的であり、多方面と協力関係を築きながら、連携を図っている。                                 |                   |
| 6               | (5)    | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中は、極力活動をして喜怒哀楽が表現できるアソビ等 心体機能の低下防止に努め 精神安定に繋がるようケアに取り組んでいる 施錠は夜間のみとしている   | 独自の指針の作成や、身体拘束廃止委員会の月1回開催を通して、職員間で、身体拘束について、禁止の対象となる行為、及び弊害について理解を深め、身体拘束をしないケアに主体的に取り組んでいる。実際に対象者はいない。                             |                   |
| 7               |        | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている                                      | 外部の研修で学ぶ機会を設けている   |   |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | (6)  | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 外部の研修で学ぶ機会を設けている パンフレット等施設内に置いて いつでも説明できる準備をしている  | 実際に成年後見制度を活用している方もおり、職員は、平素から制度の意義、内容について、意識している。また外部研修を通して、更なる理解を深めるとともに、パンフレット等資料を完備することで、制度活用に努めている。                         |                   |
| 9  |      | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている   | 説明時及び後日でも 疑問等随時対応している   |   |                   |
| 10 | (7)  | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | 家族の面会時は必ず声をかけ心身の状況や日頃の暮らしぶり等詳しく伝え意見 希望等出してもらっている 又電話 手紙での対応で 意見要望を頂戴したり 伺ったりして運営に反映させている  | 月ごとに入居者の様子や活動状況を記載した事業所便りを発行し、情報発信に努めるとともに、面会時を利用して、コミュニケーションを図りながら、意見や要望の把握を行い、運営に反映出来るよう努めている。                                |                   |
| 11 | (8)  | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | 提案 意見があれば可能な限り取り入れ 利用者への支援がよりよいものとなるよう 又 職員のスキルアップに繋がっていかばと 考え 反映させて行っている   | 職員会議や、朝のミーティング時を、職員の意見や提案を聞く機会としている。意見の出し易い雰囲気作りにも努めており、実際に忌憚のない意見交換がなされ、運営にも反映されている。   |                   |
| 12 |      | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている  | 効課表を参考に 職場環境整備 労働時間の調整等 職員が勤務しやすいよう 努めている   |   |                   |
| 13 | (9)  | 人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 採用には、決まりごとはない 職員ひとりひとり得意とする事があり介護の経験豊富者 工作 日曜大工 料理 レクリエーション等お互いを認め援助しながら 日々の勤務に生かしている プライベートでは、ボランティア 習い事 地域の運動クラブへの参加 旅行等 余暇活動のための休暇希望にも対応し充実できるよう配慮 心身のリフレッシュをし翌日からの勤務に望めるよう努めている | 職員の採用にあたり、性別や年齢等を理由に採用対象から排除することはない。管理者は、職員一人ひとりの得意分野が活かすよう努めている。休憩時間も確保され、各自の研修や社会参加等、余暇が充実したものとなるよう勤務調整を図っており、働き易い環境作りに努めている。 |                   |
| 14 | (10) | 人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる   | [老人福祉倫理綱領][グループホーム倫理綱領]を掲示 報道で知りえた虐待の事件について朝礼で話題となり 日頃のケアの振り返りが話し合われる 誰がではなく 自然に出ることが職員に浸透していると認識している   | プライバシー保護や虐待防止等が明記された倫理綱領を、事業所内に掲示し、職員間で周知を図るとともに、日常業務を通して、入居者一人ひとりの尊重に努める中で、人権教育・啓発に取り組んでいる。                                    |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己                       | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|--------------------------|------|---|---|--|-------------------|
|                          |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15                       |      | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 日勤業務に支障のない体制に調整、研修を受けることが出来るよう努めている   |  |                   |
| 16                       |      | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 町内のグループホームで、他施設の運動会 納涼祭りに参加し同業者と交流する機会を作っている  |  |                   |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |  |                   |
| 17                       |      | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居のご希望が有れば家族と調整を行ない ご本人や主治医との面談を 出来るだけ行ない ご本人を知るよう努めている   |  |                   |
| 18                       |      | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | ご家族の相談から 関係づくりが始まり 今、何がお困りであるか 要望等に傾聴し緊急性の有無を見極め 都合の良いときに見学に来ていただき面談にて再度様子を伺う 又利用者との面談も お願いし関係づくりに努めている |  |                   |
| 19                       |      | 初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | ご本人や家族の困りごとに 耳を傾け 当ホームで提供できるサービスや 他のサービスもお伝えし ご本人にとって一番良い支援を受けていただけるよう対応に努めている                          |  |                   |
| 20                       |      | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 自分の家族という認識で暮らしている(親 祖父母) 又、利用者の生活暦での 仕事の後輩になったりと場面場面の登場人物になりながら とともに暮らす者として、よりよい関係を築けるよう支援している          |  |                   |
| 21                       |      | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 入居後家族と疎遠にならないよう 電話 外出外泊等いつでも可能な限り支援し 又 わずかな時間でも家族と過ごしていただけるよう 自室で家族持ち込みの食事も可能とし 絆を大切にする支援に努めている         |  |                   |
| 22                       | (11) | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 本人の会話の中に出てくる名前を 記録しておき 家族の面会時お尋ねし 大切な方と家族が思われると 近況など 話されるなどされ 又連絡を取られ電話やお手紙を下さることもあり 途切れない支援に努めている      | 馴染みの店等を訪れる等には至っていないが、家族に相談しながら、本人が望む友人、知人との関係が途切れないよう電話や手紙等を通して、関係の継続に努めている。 |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己                              | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|---------------------------------|------|---|---|---|---|
|                                 |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 23                              |      | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                    | その場その場の状況に応じ 見守りや助言等を行ない なるべく双方の関係にひびが入らないよう又 関係が円滑に維持できるよう支援に努めている                       |   |   |
| 24                              |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 季節のたより お見舞い等 伺い 退院に向けての相談があれば、再入居や他施設の調整等 支援に努めている  |   |   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |   |   |
| 25                              | (12) | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 何気ない会話の中 散歩 入浴中などに 思いや希望を引き出すため 沢山のお話しをしていただけよう声かけが続いている                                  | 普段の何気ない会話やしぐさの中から、思いや意向の把握に努めている。アセスメント・ツールには独自の物はなく、その時々で様式を変えている。内容については、サマリーや介護添書等、情報提供書の類で代用している観が見受けられる。               | 現状の情報提供書の類では、看護や病状、ADLという視点に重点が置かれている。本人の意向把握等の困難な場合を踏まえ、またより本人本位の視点から、その人の生活歴や好み、趣味、馴染みの関係性等を記録、共有し、潜在化するニーズの把握を期待したい。 |
| 26                              |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 課題分析を基に また聞き取りで情報を収集できるよう努めている(上記も行っている)  |   |   |
| 27                              |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 本人のペースを大切にしつつ集団生活に少しずつ馴染んでいけるように 支援している 日々の中で 出きることを多く見つけ 家族の一員として生活をして頂き、安らぎの場となるよう努めている |   |   |
| 28                              | (13) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人 ご家族の希望 かかりつけ医からの助言を取り入れ介護支援専門員が作成、その後各担当者が主となり個人日課表の記録を基にモニタリングを行ない現状に沿ったプランになるよう努めている | 本人のニーズを基に、家族や医師、職員の意見を参考にしながら、本人の現状に合致した計画書作成に努めている。実際、計画書の支援内容については、具体的、且つ細やかに記載されており、その点は評価出来る。見直しについても、状態変化に応じて柔軟に行っている。 | 計画書の短期目標について、やや抽象的な表現が見受けられる。達成度を計り易くする為、より具体的な記載を期待したい。  |
| 29                              |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個人日課表と 連絡日誌に記入し 情報の共有に努め 日々のケアに取り入れて実践や見直しに活かされている  |   |   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 現時維持   |   |                   |
| 31 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 現時維持   |   |                   |
| 32 | (14) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 受診時 ホームでの様子が分かるよう 又、さまざまな疾病や合併症の早期発見に少しでも貢献できるように 日々のバイタル表と最近のご様子などを記したメモを 家族に渡しかかりつけ医に情報提供をしている | 本人・家族の希望を尊重し、納得が得られる受診支援を行っている。その結果、かかりつけ医を、月2回の往診が受けられる協力医に変更している入居者が多数を占める。医師との連携も十分に取れており、24時間いつでも対応出来る良好な関係が築かれている。 |                   |
| 33 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 月2回の往診 週2回の訪問看護 併設施設の看護師へいつでも相談できる体制となっており適切な受診を受けれる 安心安全を提供できる体制づくりに努めている                       |   |                   |
| 34 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 御見舞い 家族との情報の共有 病状が安定したら 早期退院の相談を 主治医 ソーシャルワーカーと調整を行なっている   |   |                   |
| 35 | (15) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 協力医より 往診時個別で家族と 緊急時重度化時の対応の説明と 今後の大まかな方針の取り交わしを現在おこなっている   | 本人・家族の希望や意見を尊重し、医師とも連携を図りながら、重度化にも対応している。実際、口から食事が摂れなくなるまで支援を行っている。またターミナルについても、医師が協力的であるので、現在、より充実した体制作りを進めている。        |                   |
| 36 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | している   |   |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己                           | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                              |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37                           | (16) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 年2回 昼夜を想定した消防非難訓練を実施し利用者も一緒に参加をしている   | 防災訓練については、隣接の特別養護老人ホームやデイサービス等と合同で、年度末に2度開催している。内容は、前年度の課題を踏まえながら、昼間と夜間を想定したもので、実用的である。   |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |   |                   |
| 38                           | (17) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 楽しく穏やかに 過ごしていただくよう 個々の生活暦 性格等を考慮しその方にあった対応をしていく心がけている 入浴(個別対応)脱衣時は退室したり トイレが済まれるのを察してお手伝いに入るなど 羞恥心を感じさせないよう配慮に努めている   | 各自の生活歴等を踏まえながら、一人ひとりを尊重した対応に努めている。特に、入浴や排泄介護の場面では羞恥心に対する配慮に留意している。また室内掲示の倫理綱領には、プライバシー保護について、明記し、職員間での周知を図っている。                                 |                   |
| 39                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 出来るだけ 要点だけに絞った問いかけにし、二者択一から 自己決定していただく働きかけに努めている  |   |                   |
| 40                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 他利用者の迷惑のならない範囲で 自由に暮らしていただいている 共同作業等声かけは行うが 本人の意思に任せている   |   |                   |
| 41                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の希望や 生活背景 季節の行事等 手持ちの衣類より服装を整えている 美容室利用時は メークをして頂きおしゃれの記憶を引き出せるよう支援している ヘアスタイルも ご本人の意向を尊重し対応している  |   |                   |
| 42                           | (18) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 季節感 食欲 食べたいと思っていただける献立になるよう一部変更するなど五感刺激に繋がるよう工夫をしている 着座でおしゃべりしながら出来る下ごしらえ作業等は、共同で楽しみのひとつとして参加されている 気配りは怠らず 失敗があったときはさりげなくフォローをし 多少の汚れや乱れは気にせず、静かなBGMを聴きながらゆったりと食べていただいている 下膳など各自 できる方がされている | 献立は外注であるが、入居者の嗜好や、その日の要望、季節、天候を加味しながら、アレンジを加え、食事が楽しみとなるように努めている。食事は、BGMを聴きながら、職員も同席し、会話が弾んでいる。入居者は、準備や片付け等を出来る範囲で担っている。また入居者の要望に応じて、時に外食も行っている。 |                   |
| 43                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 管理栄養士から 年齢 性別 身長 体重 およその一日活動量 疾病等を基に エネルギーを算出 米飯にてカロリー調整 食事形態も個別に合わせ 粥 副食(一口・粗刻み・超刻み)トロミ粉使用 と美味しく尚且つ安全に全量摂取していただけるよう支援している  |   |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 起床 毎食後の口腔ケアの準備 声かけ 誘導 見守り 一部お手伝い と励行し誤嚥防止の予防にも役立っている   |  |                   |
| 45 | (19) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 利用者に応じた声かけ 排泄チェック表確認での誘導等 必要な支援を さりげなく行っている 車椅子の方でも歩行が可能な方は、体調を見ながら介助歩行での移動をして頂く支援に努めている                                   | 排泄確認表を参考に、各自の排泄パターンや状態を把握し、見守りや、さりげない付き添い、言葉掛けによる誘導等を行い、一人ひとりのニーズに応じた支援を行っている。                         |                   |
| 46 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 常に水分補給をしっかりと行い 合わせて運動も行っている、食事摂取量のチェック排泄チェックを 毎朝確認し 排泄(-)のご利用者には 腹部のマッサージや水分補給強化及び主治医の指示に従い適切な対応を支援している                    |  |                   |
| 47 | (20) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 毎日午後から入浴できるが、入浴希望者が少なく2日に1回は、入浴していただくよう 声かけ誘導をし ゆったりとした時間を過ごしていただく支援をしている  | 入居者一人ひとりのニーズに応えられるよう毎日午後から入浴出来るように備えている。浴室は清潔を保たれ、浴槽も広い。シャンプー等についても、希望の物を使用する等、ゆったりと気持ちよく入浴出来るよう努めている。 |                   |
| 48 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 清潔な寝具 室温 寝具の調整 必要な方には湯たんぽ 式パット 電気敷き毛布使用 就寝前には季節に合わせて 生姜湯 ホットカルピス ホットレモン ココア 緑茶 梅酒 等飲んでいただき 安眠できるよう工夫をしている 怖がる方に添い寝をすることもある |  |                   |
| 49 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | ご利用者の〔くすりの説明書〕は個人のファイルに綴じいつでも確認できるようにしている 詳しく知りたいときには〔薬の早分かり事典〕で理解している   |  |                   |
| 50 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 趣味のある方には、在宅でされていた様に 必要物品等を準備 畑の好きな方には、菜園の指導をしていただき 家事も 出来る方に分担してお手伝いをして頂き 楽しみや役割 元気に活動をしていただける支援をしている                      |  |                   |

福岡県 グループホーム 新多園

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | (21) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | ご希望があれば、家族等へ伝達をおこなっている お正月 お盆は、ご家族の協力があり 外泊外出が出来ている ホームでの外出で、個別対応は 行えていない           | その日の入居者の希望や、体調、天候に応じて、日常的に敷地内を散歩したり、ショッピングモールへの外出や外食を行っている。また家族の協力を仰ぎながら、外出や外泊を行い、一人ひとりの希望にそえるよう努めている。  |                   |
| 52 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 自己管理のできる方は、財布をもっておられる 困難な方でも必要時お金を渡し ご自分で支払っていただくなど 安心して 買い物を楽しんでもらえる 支援をしている       |   |                   |
| 53 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | いつでも 電話を使えるようになっており自由に使用されている(無料) 便箋 はがきを準備しており 宛名書きの依頼をうけることもあり 支援している             |   |                   |
| 54 | (22) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 加湿 空気清浄機 3台購入し 感染症予防に努めた  | 食堂兼居間は、広々とし、採光良く明るい。各所にソファーが配され、畳スペースには掘炬燵が施され、ゆったりと過ごせる配慮がなされている。またトイレが2居室に1カ所の割合で設置されている。高い天井には、ファンが回り、空気清浄器も稼働する等、一人ひとりが快適に過ごせるような配慮を随所に感じることが出来る。 |                   |
| 55 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 現状維持  |   |                   |
| 56 | (23) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご本人と家族が使用中の家具の中から必要と思われる家具を相談のうえもって来られ 歩行時に障害のないように家具類を設置されている                      | ベッド、イスは予め備え付けられている。調度品等は、入居者の動きの妨げにならなよう配されており、全体的にゆったりとしている。各居室とも整理整頓されている。  |                   |
| 57 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | おひとりおひとりの 出来る事 出来そうな事を見極め 体調の変化等にも気をつけながら 情報の共有の元、安心安全穏やかに自分らしく生活していただけるように支援に努めている |   |                   |